

個人カード

総合的な学習の時間 「被災地で困っている人々を救助ロボで救おう」()グループ
名前()
月 日

「今日のめあて」

災害による被害を受けた地域で利用できる、目的に応じた安全で操作しやすい救助ロボを作ろう。

★トリオで話し合おう。

①どんな問題が考えられるだろう。(例)がれきの下にまだ人がいるかもしれない。

②問題を解決するためにどんなことができるだろう。
(例)がれきがあるところをよけて進む。 助けた人をのせて運ぶ。

③Lモーターを使った、どんな救助ロボが考えられるだろう
【救助ロボの動き】

【プログラム】

★トリオで話し合って【プログラム】【救助ロボ】の計画を立てよう。

【グループチェック表】

★救助ミッションをクリアしたら○をつけて、
クリアの時間を書こう！

	救助1 目的地へ。	救助2 センサー (障害物を よけて 進む)	救助3 Lモーター (障害物をど けて目的地に たどり着く)	救助4 中継地点を 通って 目的地へ	救助5 発展 (トリオで 救助方法を 考える)
1	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
2	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
3	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
4	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
5	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
6	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
7	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
8	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
9	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)
10	(:)	(:)	(:)	(:)	(:)

『プログラミング学習で 楽しく、できた喜びを味わう ための3つの大切な力』

① 【ブロック力】

ブロックの意味や動きを理解する

② 【プログラミング力】

ブロックの組み合わせを考える。
(どのブロックをどういう順番でやるのか)
正しい数値や記号を入れる。

③ 【レゴチェンジ力】

救助ロボを工夫する
(動きやすい。目的に合っている)

〈ブロックチェック5項目〉

1、ブロックの選択は？

「このブロックでいいのかな」「他のブロックだと」

2、ブロックの順番は？

「この順番でいいのかな」「ここの順番をこう変えると」

3、ループ（繰り返し）のさせかたは？

「いつまでが違うかも」「繰り返させるブロックこれ？」

4、黄色の砂時計

「～するまで待機する」の条件は？

「選んだブロック合ってる？」「数字ってこれ？」

5、シンプルで分かりやすい？

「ブロック多すぎない？」「こりすぎてる気がする」

<なりしゴ ルール5か条>

- 1、 組み立てはふたの上で。**
 - 2、 パーツを落とさない。**
 - 3、 パーツの貸し借りはなし。**
 - 4、 パーツは元のボックスにもどす**
 - 5、 最後に必ず床チェック。**
- ★自分の役割をきちんと果たし、
友達と協力して取り組もう。**



救助ミッション

MISSION



【Mission 1】 目的地へ食料・救助者を運ぶ。

【Mission 2】 センサーで止まって、障害物をよけて進む。

【Mission 3】 Lモーターで障害物をどけて目的地へ。

【Mission 4】 中継地点を通過して目的地へ。

【Mission 5】 発展 Mission をトリオで考える。

